

武漢事務所週刊ニュース (2016. 8. 6-2016. 8. 12)

2016年8月6日

中国最高の航空管制塔が武漢で起用

昨日、湖北空管分局が高さ 114.95 メートルを誇る新築の武漢管制塔を天河空港で正式に起用した。高さは国内第 1 位で、世界では 132 メートルの新バンコク空港の管制塔に次ぐ第 2 位である。

新管制塔は 22 階建て、最上階の管制室は“鳳凰の冠”の如く、四方の窓は全て透明なガラス貼りで天河空港を 360 度見下ろすことが出来る。管制員は「空中のお巡りさん」のように飛行機の滑走、離着陸の指揮が出来る。

2016年8月7日

武漢が上半期の就職景気指数発表

- 大企業の労働者雇用が継続的に減少
- 新興サービス業の新規就職需要は 10 万人増
- 零細企業の求人数が急増

今年 5 月、市の人力資源及び社会保障局が初めて前年度の就職景気指数を発表した。武漢市は中西部で初めて就職景気指数を発表するメカニズムを構築した都市となった。上半期指数の発表は各級人材資源市場が統計したデータ、391 社の企業失業動態監視測定データ及び市の發展改革委員会などの部門のデータを集計分析したものから作成された。

去年の同期と比べ、就職景気指数はやや下向きになった。上半期、求職人数と求人数が前年比それぞれ 48%と 20%に減少し、企業求人成功率と市場求職成功率はどちらも 50%を超えていない。調査によると、企業のポスト空席率は 2.78%、前年比 0.24%上がり、中には人員の流失によるものが半分以上を占めている。都市部が登録した失業者の再就職率は僅か 25%、失業保険金を受け取る人数は前年比より 37%増え、失業保険金 1.38 億元が支払われた。

大企業の求人数減少に対し、零細企業の求人数が増加した。上半期全市の一定規模以上の企業の中で、22.9%の企業で損失が発生しており、雇用の削減が続いている。上半期新たに 1.3 万人の雇用を創出し、企業 6.64 万社、雇用人数 5.8 万人、これらのデータは零細企業の急速な發展が求人数の増加に関連するということを証明した。